中学校第2学年 保健体育科 学習指導案

期 日 平成25年10月24日(木) 第5校時

場 所 阿蘇市立阿蘇中学校 運動場

指導者 教諭 高宮 さつき

1 単元名

「ソフトボール(球技:ベースボール型)」

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、二つのチームが攻撃と守備を交替で行い、バット操作と走塁で得点を知れたり、ボール操作と定位置での守備などによって相手の得点を防いだりして競い合うことに、楽しさや喜びを味わうことができる運動である。ボールを捕ったり投げたり、バットでボールを打つ技能習得には多くの時間が必要であるが、プレイヤーの人数、グラウンドの広さ、用具など、プレイ上の制限を工夫したゲームを取り入れることで、個人やチームの力に応じた作戦を立てゲームを楽しむこともできる。

(2) 系統観

学年	小学校5・6年生	中学校1・2年生	中学校3年生・高等学校入学年次
領域	ボール運動	球 技	球 技
内容及び構成	ウ ベースボール型 [例示] ・ソフトボール ・ティーボール	ウ ベースボール型 [運動種目] ・ソフトボール	ウ ベースボール型 [運動種目] ・ソフトボール

(3) 生徒観(本単元に係る生徒の実態 男子33人、女子34人、計67人)

○情意面に関する実態

【体育は好きですか?】

とても好き37人 まあまあ好き16人 あまり好きではない10人 嫌い4人

【体育は得意ですか?】

とても得意19人 まあまあ得意29人 あまり得意ではない11人 苦手8人

【ソフトボールは好きですか?】

とても好き21人 まあまあ好き31人 あまり好きではない12人 嫌い3人

【ソフトボールは得意ですか?】

とても得意13人 まあまあ得意26人 あまり得意ではない21人 苦手7人

○学び方に関する実態

【体育の授業で、どうしたら運動がうまくできるか、運動が上手になるか、考えて学習していますか?】

とても考える18人 まあまあ考える38人 あまり考えない9人 考えない2人

【体育の授業で、クラスメートの動きや他のチームの動き方を見て、学習していますか?】

とても見ている29人 まあまあ見ている33人 あまり見ていない4人 見ていない1人

【体育の授業で、クラスメートにアドバイスや気付いたことを伝えて、学習していますか?】

とても伝える11人 まあまあ伝える36人 あまり伝えない16人 伝えない4人

【体育の授業で、クラスメートや先生からのアドバイスや気付きを、自分の学習に役立てていますか?】

とても役立てている30人 まあまあ役立てている33人 あまり役立てていない4人 役立てていない0人

【体育の授業で、グループやペアで話し合うときに、自分の意見・考えを伝えて、学習していますか?】

とても伝える16人 まあまあ伝える34人 あまり伝えない16人 伝えない1人

○運動経験の実態

生徒は、第2学年で初めてベースボール型の種目(ソフトボール)を学習する。小学校期において、体育

の授業でソフトボールを経験している生徒も少なく、中には、ベースボール型の学習が初体験という生徒もいる。ソフトボールの一般的なルールやポジション等の知識についても初めて知る生徒が多数いる。

本校はほとんどの生徒が部活動に加入している。対象学級の生徒の内、野球部は5人、女子ソフトボール部員はいない。これまでの経験から運動やベースボール型種目に苦手意識のある生徒がいる。特にベースボール型に慣れ親しんでいない女子生徒の多くは、ボールを捕ることに恐怖感を持ち、バットでボールを打つ技能は難しいと感じている。苦手意識を感じている生徒が主体的に取り組んでいけるような学習を仕組まなければならない。

○体力テストからの実態（県は平成24年度平均値）

種目		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	持久走 (秒)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ボール投げ (m)
男子平均	学年	27.52	25.83	41.03	52.35	392.54	8.16	202.08	22.30
	県	29.38	27.38	42.24	52.03	382.93	8.07	193.16	20.91
女子平均	学年	22.17	23.84	42.97	47.04	269.53	8.66	184.68	14.47
	県	23.93	22.89	43.15	46.28	285.45	8.90	167.19	13.29

男女共通で、反復横跳び、立ち幅跳び、ボール投げで県平均を上回っている。

(4) 指導観

○第1時オリエンテーションで、学習のねらいや進め方を示し、生徒に見通しを持たせるとともに、学習のきまり、安全確認について指導する。

○体力の向上を目的として、毎時間の導入で補強運動を設定する。

○学習1では、基礎的・基本的な技能（ボール操作）を習得するためのゲーム（基礎技能向上ゲーム）を設定し、準備姿勢、ステップ、キャッチング、スローイング、ファロースロー等を習得できるようにする。

○学習2では、コートや人数、ルールに条件を付けたゲーム（課題設定ゲーム）によって、チームで攻め方や守り方を決めて、身に付けたバット操作やボール操作の技能を活用し、ボールを持たないときの動きを理解できるようにする。

○学び方（安全面、きまり等）については、毎時間のはじめに知らせ徹底を図る。

○毎時間のまとめでは、よい動きをしていた生徒を紹介し、基礎的・基本的な動きのポイントを確認する。

また、攻め方や守り方を工夫し作戦を考えていたチームを紹介するとともに、思考・判断の評価を行う。

○学習班（チーム）の編成は、男女混合の6チーム（7～8人）をつくる。

○生徒同士の教え合い学習が充実するように、動きのポイントや作戦の工夫のヒントとなる言葉を整理し、ボードにまとめていく。

○本学習では、指導と評価の一体化を図るために次の評価活動を行う。

診断的評価:事前のアンケートにより生徒一人一人の実態を把握し、事後のアンケートで変容を評価する。

学習シートを活用し、毎時間の自己評価・相互評価が的確に行えるように、評価の視点を明確に示す。

ゲーム中の生徒への聞き取りを通して、戦術に関する思考・判断・表現について評価を行う。

【視点1】 思考力・判断力・表現力等の育成	【視点2】 学習評価と指導の改善	【視点3】 情報活用能力の育成
【視点1】 本単元では、高めたい思考力・判断力・表現力等を、攻撃や守備の仕方を工夫したゲーム中の声かけの様子ととらえる。生徒がゲーム中に考え判断したことを、チームメイトへ声かけすることで、基礎的・基本的な個人技能を活用しながら、豊かなかかわり合いのある授業を目指す。	【視点2】 本単元では、チームの作戦と個人の役割のつながりを記録として残す活動で、生徒の思考の過程を評価できる授業を目指す。その際、プレイの成否にかかわらず、自分のねらいや意図を書く活動を重視し、前回までの自分のプレイと比較・関連付けした表現を意識させる。	【視点3】 本単元では、勝敗を左右する得点に関する情報を、図や数値などで示すことで、主体的な情報活用を促す授業を目指す。また、生徒が情報の収集もできるようにするために、視覚的に分かりやすいデジタルコンテンツや記録シートなどの教材教具の工夫を行っていく。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	<p>(1) 基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開することができるようにする。 (技能)</p> <p>(2) ソフトボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 (態度)</p> <p>(3) ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 (知識、思考・判断)</p>
運動への 関心・意欲・態度	<p>①ソフトボールの学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>②フェアなプレイを守ろうとしている。</p> <p>③分担した役割を果たそうとしている。</p> <p>④作戦などについて話合いに参加しようとしている。</p> <p>⑤仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>⑥健康・安全に留意している。</p>
運動についての 思考・判断	<p>①ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。</p> <p>②自己やチームの課題を見付けている。</p> <p>③提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>④仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。</p> <p>⑤学習した安全上の留意点を他の練習場所や試合場所に当てはめている。</p>
運動の技能	<p>①肩ごしでのバットの構えができる。</p> <p>②地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。</p> <p>③タイミングを合わせてボールを打ち返すことができる。</p> <p>④全力で走りながら、タイミングを合わせて塁を駆け抜けることができる。</p> <p>⑤減速したり反転したりして塁上に止まることができる。</p> <p>⑥ボールの正面に回り込んで、ゆるい打球を捕ることができる。</p> <p>⑦大きな動作でボールをねらった方向に投げることができる。</p> <p>⑧守備位置から塁上へ移動して、正面の送球を受けることができる。</p> <p>⑨捕球しやすい守備位置に繰り返し立ち準備姿勢をとることができる。</p> <p>⑩ポジションの役割に応じてベースカバーやバックアップの基本的な動きをすることができる。</p>
運動についての 知識・理解	<p>①ソフトボールの特性や成り立ちを言ったり書き出したりしている。</p> <p>②技術や戦術、作戦の名称やその具体的な行い方や活用方法を言ったり書き出したりしている。</p> <p>③ソフトボールを継続することで、巧緻性、敏捷性、瞬発力、筋力などが動きに関連して高められることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>④簡易な試合におけるルール、審判や運営の仕方があることを言ったり書き出したりしている。</p>

4 指導・評価の計画（10時間取扱い 本時5時間目）

次時	1	2	3	4
	1	2～3	4～7（本時5時間目）	8～10
学習活動	<p>○学習のねらいや進め方、シートや用具の使い方を知る。</p> <p>○準備・片付けの役割分担やグループを決める。</p> <p>○簡易ゲームをして、ソフトボールの特性やルールを知る。</p>	<p>○集合、あいさつ、場の準備をする。 ○準備運動・補強運動をする。 ○学習の進め方やめあてを確認する。</p> <p>○学習1（基礎技能向上タイム）の活動をする。 〈守備の技能アップ〉 ・1分間キャッチボール・ゴロキャッチボール ・遠投キャッチボール 等</p> <p>○学習2（課題設定ゲーム）の活動をする。 ・フリーバッティングゲーム</p>	<p>○学習1（基礎技能向上タイム）の活動をする。 〈守備の技能アップ〉 ・手投げゴロノック ・墨間キャッチボール 等</p> <p>○学習2（課題設定ゲーム）の活動をする。 ・フリーバッティング 等 ・走者満塁ゲーム</p>	<p>○学習1（基礎技能向上タイム）の活動をする。 〈守備の技能アップ〉 ・手投げゴロノック ・墨間キャッチボール 等</p> <p>○学習2（課題設定ゲーム）の活動をする。 ・フリーバッティング 等 ・走者1・2塁ゲーム</p>
	<p>○学習の振り返りをする。</p> <p>○整理運動、後片付け</p>	<p>○学習の振り返りをする。</p> <p>○整理運動、後片付け</p>	<p>○学習の振り返りをする。</p> <p>○整理運動、後片付け</p>	<p>○学習の振り返りをする。</p> <p>○整理運動、後片付け</p>
指導上の留意点	<p>・学習計画を示し、見通しを持ち、主体的な学習活動ができるようにする。</p> <p>【視点3】最初のルールや場づくりを図で説明する。</p> <p>【視点2】簡易ゲームでの課題をチームで共有する。</p>	<p>・準備を安全に、素早く、協力して行うよう助言する。</p> <p>・本時の学習の見通しを持たせ、協力して進めていくためのきまりを確認する。</p> <p>・学習1で、スキルの伸びを数値化することで興味関心を高める。</p> <p>・学習2で、第三者のアドバイスにより、打つポイントを意識してバッティングをさせる。</p> <p>【視点1】運動技能のポイントを言葉で指摘し合い練習活動に生かしていく。</p> <p>【視点2】運動技能のポイントへの気づきを図に書き込ませる。</p>	<p>・学習1で、声をかけ合うことで、集団的な動きができるようにする。</p> <p>・学習2のゲームで、守備位置と打つ方向を工夫しながら、相手との攻防を展開することを意識させる。</p> <p>【視点1】基礎的・基本的な技能（攻撃）を重視した学習課題を設定する。</p> <p>【視点2】作戦や動き方を確認できるよう作戦タイムを設定する。</p> <p>【視点3】作戦ボードを活用し、コートや相手チームの守備位置を視覚的につかませる。</p>	<p>・学習1で、声をかけ合うことで、集団的な動きができるようにする。</p> <p>・学習2のゲームで、守備位置と打つ方向を工夫しながら、相手との攻防を展開することを意識させる。</p> <p>【視点1】基礎的・基本的な技能（守備）を重視した学習課題を設定する。</p> <p>【視点2】作戦や動き方を確認できるよう作戦タイムを設定する。</p>
		<p>・教え合い活動のよさを互いに確認させる。</p> <p>・学習シートに自分や友達の動き、チームとしての動きを記入させ、伝え合い交流させる。</p>		
評価基準（評価方法）	<p>関心・意欲・態度①（観察）</p> <p>ソフトボールの学習に積極的に取り組もうとしている。</p>	<p>関心・意欲・態度③⑥（観察）</p> <p>・準備や後片付けで、分担した役割を果たそうとしている。</p> <p>・健康・安全に留意している。</p>	<p>関心・意欲・態度②⑤（観察・シート・）</p> <p>・ゲームでフェアなプレイを守ろうとしている。</p> <p>・練習やゲームで、仲間の学習を援助しようとしている。</p>	<p>関心・意欲・態度④（観察・シート）</p> <p>練習やゲームで、作戦などについての話合いに参加しようとしている。</p>
		<p>思考・判断①②（観察・シート）</p> <p>・運動の行い方のポイントを見付けている。</p> <p>・練習から、自分やチームの課題を見付けている。</p>	<p>思考・判断③（観察・シート）</p> <p>提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p>	<p>思考・判断④⑤（観察・シート）</p> <p>・分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。</p> <p>・安全上の留意点を他の練習場所や試合場所に当てはめている。</p>
	<p>技能①（観察）</p> <p>肩ごしでのバットの構えができる。</p>	<p>技能②③④⑦（観察・シート）</p> <p>・地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。</p> <p>・タイミングを合わせてボールを打ちかえすことができる。</p> <p>・全力で走りタイミングを合わせて墨を駆け抜けることができる。</p> <p>・大きな動作でボールをねらった方向に投げることができる。</p>	<p>技能⑤⑥⑧⑨（観察・シート）</p> <p>・減速したり反転したりして墨上に止まることができる。</p> <p>・ボールの正面に回り込んで、ゆるい打球を捕ることができる。</p> <p>・守備位置から墨上に移動して、正面の送球を受けることができる。</p> <p>・自分の守備位置に繰り返し立ち準備姿勢をとることができる。</p>	<p>技能⑩（観察・シート）</p> <p>ポジションの役割に応じてベースカバーやバックアップの基本的な動きをすることができる。</p>
		<p>知識・理解①③（発問・シート）</p> <p>・ソフトボールの特性を言ったり書き出したりしている。</p> <p>・ソフトボールを継続することで高められる体力を言ったり書き出したりしている。</p>	<p>知識・理解②（観察・シート）</p> <p>ソフトボールの技術やルールを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>知識・理解④（観察・シート）</p> <p>簡易な試合におけるルール、審判や運営の仕方があることを言ったり書き出したりしている。</p>

5 本時の学習

(1) 目標

- ボールの正面に回り込んで、ゆるい打球を捕ることができるようにする。 (技能)
 - 練習やゲームで、仲間の学習を援助しようとするようにできる。 (態度)
 - 技術やルールについて、学習した具体例を挙げるようにできる。 (知識)
 - 自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶようにできる。 (思考・判断)
- ※本時では、運動の技能を主として評価する。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 【三つの視点から】	備考
導入 10分	1 集合、あいさつ。 2 場の準備をする。 3 準備運動・補強運動をする。 4 学習の進め方やポイントを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 前回の学習を生かして、攻めと守り方を工夫しよう。 </div>	○自分の分担された役割を果たそう。 ○ゲームの場所や打順を学習ボードで確認しよう。 ○確実にランナーをかえすことができる打ち方を工夫しよう。	○欠席者・見学者の確認と指示。 ○場や用具の安全を確認する。 ○しっかり意識して行われているか観察し、助言する。 ○仲間の学習を援助するために、声かけ・アドバイスを意識させる。 ○ゲーム中にかけての言葉(ゲーム言葉)を確認する。	学習ボード 学習機
展開 35分	5 学習1 基礎技能向上タイムでボール・バット操作を身に付ける。 【1分間キャッチボール】 【1分間ゴロキャッチボール】 【フリーバッティング】 6 学習2 課題設定ゲームをしてチームで作戦を工夫する。 【走者満塁ゲーム】 作戦タイム 前半1イニング表裏 作戦タイム <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 【言語活動】 ゲーム前半の課題を基に、各個人の改善点を出し合わせ、ゲーム後半での実践化につなげる。 </div> 後半1イニング表裏 ※時間があれば3イニング表裏を行う。	○常に準備姿勢で構えておこう。 ○ボールの正面に素早く回り込もう。 ○ボールをよく見て、水平にバットを振り抜こう。 ○味方への声をかけ合おう。 ○前はどんな守備位置を取っていたかな。 ○打者によって守備位置を工夫しよう。 ○打者は、守備位置を見て、ねらってバッティングしよう。 ○コート外からも声をかけて、仲間の学習を援助しよう。 ○得点のルールを守りましょう。 ○作戦ができるために積極的に友達と声をかけ合おう。 ○交代は駆け足で行おう。	○捕る・投げる・打つ技能のポイントを説明する。 ○記録の伸びを確認させて、自信を深めさせる。 ○よい生徒の動きを積極的に賞賛する。 ○得点やアウトのルール及び各チームの役割分担を確認する。 【視点1】作戦タイムを設定し、チームで作戦や動き方を工夫できるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 評価：技能⑥(観察、シート) B基準ボールの正面に回り込んでゆるい打球を捕ることができる。 </div> A基準 ボールの正面に回り込んで、強い打球を捕ることができる。 〈B基準に達しない生徒への手立て〉 打者に応じて、守備位置を後ろに下げさせる。 【視点2】打つプレイの後に自分のねらいと意図を確認する聞き取りを行い、思考・判断を評価する。 ○攻守の交代を素早く行わせ、ゲームの時間を確保できるようにする。	ベース バット ボール グローブ 新調ボール 機ボード ビデオカメラ
整理 5分	7 整理運動をする。 8 学習の振り返りをする。 9 後片付けをする。	○ゲームについてチームで振り返ろう。 ○全員で協力して、素早く行おう。	○体調不良やケガがないか確認する。 ○作戦の工夫をしたチームを紹介し、動き方のポイントを確認する。 ○最後まで協力して安全に行われているか観察し、助言する。	学習シート